

4.5.2. 予測モデルの調整

GMDHStreamlineでは、ユーザーのニーズに合う予測ができるように、モデルの調整できます。ユーザーは、モデルタイプの調整、モデル出力の増減、モデル係数の調整から、調整できます。

モデルタイプの調整

予測モデルには、いくつかの種類があります。


- 季節性とトレンド
- 線形トレンド
- 一定水準
- 間欠需要
- 先行予約/無効化
- 自動と先行予約 間欠
- 自動と廃番

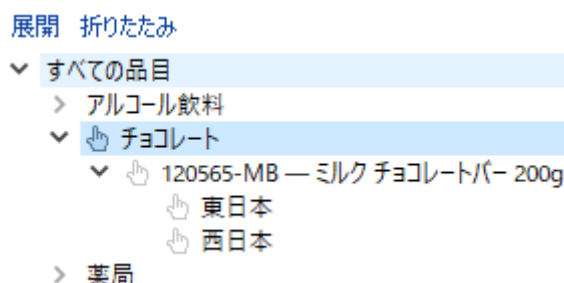
それぞれのモデルは、特別な目的への対応を意図します[GMDH Streamlineは、予測時に各計画品目ついて最も適切なモデルを自動で選択します。ユーザーは、自動選択されたモデルを別のモデルに変更もできます。

モデルタイプは、ツリービュー内のツリーのすべての階層で変更できます。

次の手順に従い、モデルタイプを変更します。:

1. 需要予測タブを選択します。
2. ツリービューの対象ノードを選択します。
3. プロパティパネル > 予測タブを選択します。
4. モデルコントロールからモデルタイプを選択します。

モデルタイプの変更後、対象ノードとその下位ノードには小さな手のアイコン  が追加されます。このように、親ノードのオプションは、すべての子ノードに自動で継承されます。ノードの先頭にある灰色のアイコンは、親ノードからの継承を表します。



予測ボタンをクリックして、新しい予測モデルの予測値を更新します。

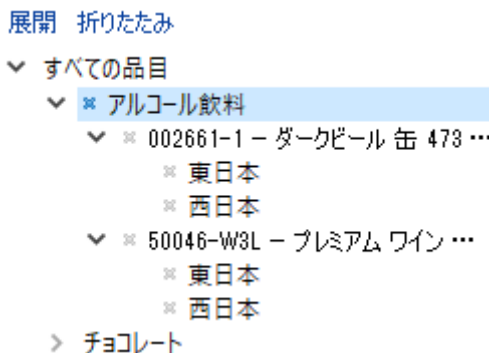
モデル出力の増減

モデルの出力は、増減できます。5%増やすなど、モデル予測の一括調整に役立ちます。予測タブの乗数を利用します。

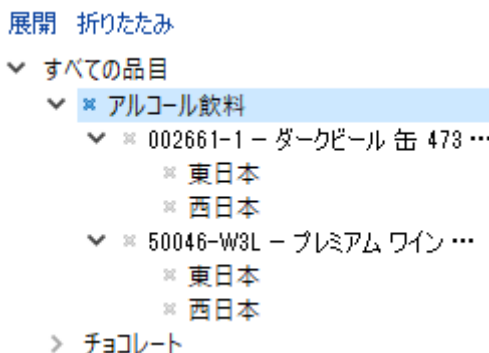
このオプションは、ツリービュー内のツリーのすべての階層で設定できます。

次の手順に従い、モデルの出力を増減させます。:

1. **需要予測**タブを選択します。
2. ツリービューの対象ノードを選択します。
3. **プロパティ**パネル > **予測**タブを選択します。
4. **乗数**オプションに乗数を入力します。



乗数 オプションの変更後、小さな十字のアイコン **x** が対象ノードと子ノードに追加されます。このオプションは、子ノードには展開されません¹⁾



予測 ボタンをクリックして、変更を適用します。

モデル係数の調整

予測立案に利用されるモデルは2種類あります、**時系列モデル**²⁾と**間欠需要モデル**です。各モデルには、ユーザーが変更できる複数の係数(もしくはパラメータ)があります。係数の変更は、モデル調整で一番詳細な部分になります。

モデル係数とは何か?

モデルは、複数の成分から構成されています³⁾。各成分には、それ自身の重みづけがあり、モデル予測の成分の寄与を決定します。モデル係数とは、各成分重みづけになります。

モデル係数を変更できるのは、ツリービューの最下層だけです。

次の手順に従い、モデル係数を変更します。:

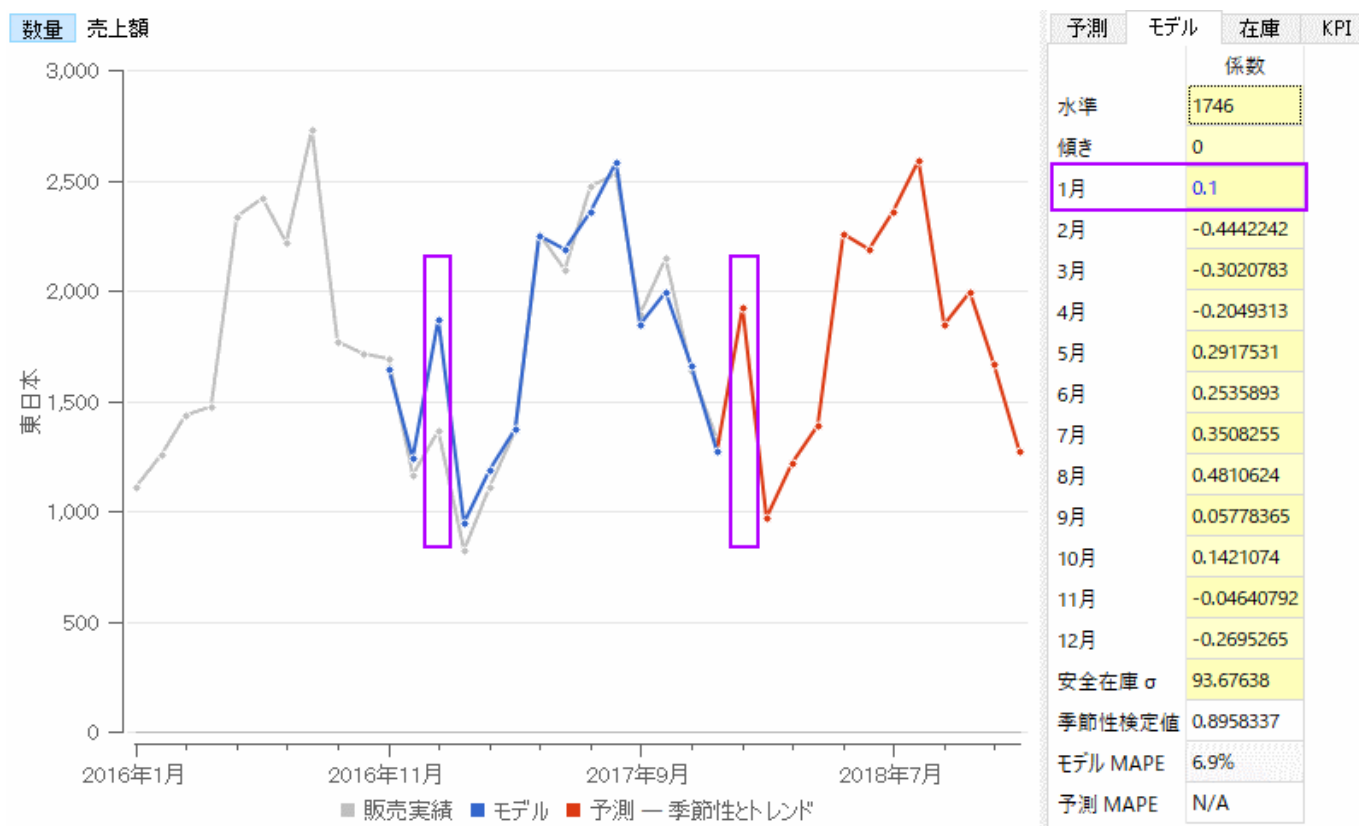
1. **需要予測**タブを選択します。

2. ツリービューにて対象ノードを選択します。
3. プロパティパネル > モデルタブを選択します。
4. 成分に対応した **係数列**の黄色いセルをクリックします。
5. 新しい値を入力し、**Enter**を入力します。

元に戻すには、調整値を空欄にして、**Enter**を入力します。

例

時系列モデルを想定します。この時系列モデルは、**水準成分**と**傾き成分**と各12か月の**季節成分**で構成されています。1月の季節係数を**-0.28**から**0.1**に変更します。係数が変更されると、モデルの出力は即座に変更されます。変更内容が**プロットビュー**に表示されます。



次へ: [What-if 売上分析](#)

[PDFダウンロード](#)

- 1) 翻訳者注釈: 展開されるのはアイコンだけで、乗数は展開されません。
- 2) 翻訳者注釈: 一定水準モデルなどは時系列モデルのサブセットのため、これに含まれます。
- 3) 翻訳者注釈: 各成分には、水準や季節性や傾きなどがあります。

From:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - **GMDH Streamline Docs**

Permanent link:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:fine-tuning-forecasting-models>

Last update: **2020/09/27 08:41**

